

私達家族には互いに「セカンドファミリーと
思っている」存在があります。身近に助け合い、
精神的にも支え合える存在です。その方は
近所に住む六十代後半になる親戚の女性
です。三年前に御主人を亡くし現在独りで暮
らしております。たくさんの親戚はありますが
お子様はおられません。亡くなられた御主人様
が元気でいらした頃より私 達家族は週末の
夕食はほとんど一緒に過ごし、御主人様が亡
くなる前夜も大変にぎやかに皆で食事をして
おりました。いつも多合のない話から真
剣な話まで本当に可愛がっていただいで
おりました。突然に御主人様を亡くされ独り
になってしまった伯母様は主人同士が「いとこ」
の関係にあり、私達とは血縁はありませんし、
年齢も親子程に離れております。ですが何故
打か何か合うというか、わかり合える存在
なのです。御主人様が亡くなった当時、娘は
小学三年生でした。亡くなった当日よりし
ばらくの間ずっと伯母様宅に泊まり込み、独り残さ
れた伯母様と共に寝起きしておりました。娘
がよく私に「私は独りっ子だから独りのおば
ちゃんかどれだけさみしいかわかるの。」と話し、
その後も二年半くらいは度々泊まりに行っ
ておりました。もちろん主人も私も、今でも亡く
なられた御主人様が元気でいらした頃より変わ
りなく、朝の犬の散歩の途中で立寄りお茶を
一杯いただいたり、週末の夕食を一緒にした
り、舞台やコンサートに出かけたり、時には娘

も一緒に四人でゴルフを楽しんだり、ごく自
然に共に過ごす時間を楽しんでおります。そ
んなある日、伯母様が「私は島村君達ファミ
リーをセカンドファミリーだと思っているの。」
と言いました。私はその響きがとても気の入り、
セカンドファミリーとして伯母様を支えてい
きたいと心に強く 思いました。私自身もその伯
母様には、人生の先輩として、女性として日々
たくさんの事を教わっております。娘の事も
まるで孫のように可愛がって下さり成長を見
守って下さっております。娘も大変信頼して
おり落ち着く場所でもあるようです。主人は
共通の趣味であるゴルフの話をも楽し
みにしております。直系の親族ではないの
に何故このような関係になっていったのか?
と考えてみたら実に単純な事なのですが、
「気が合う」からだと思うのです。亡くなら
れた御主人様が元気でいらした頃 はこの二
つのファミリーがとにかくにぎやかでした。そ
してご主人様を亡くされた 時、私達家族は
ただ伯母様の側にいただけで悲しみに寄
り添っていただけなのです。今では本当に自
然体と共に過ごす時間を楽しみ互いの存
在そのものを尊重し合っているとします。
不思議な縁だと思っております、人として自律
しているからこそ寄り添いすぎず、だからこ
そ支え合える関係なのかもしれません。こ
れからも大切にして いきたい存在のセカンド
ファミリーです。



Hiroki Hara

Dear Michi

ご無沙汰しております。マジシャンの原 大樹です。

今年、2月ラスベガスにて開催されたジュニア世界大会にて日本人
初のグランプリを受賞致しました。先月はハリウッドにて1週間公演が
無事終わりました。

現在、日本とアメリカを行き来しながら活動しております。

9月16日、荒木一郎主催 プリンあらモード会に出演致します。

お時間ありましたらお越しいただけると幸いです。

TV出演のお知らせです。お時間ありましたらご覧ください。

※「徳光和夫のトクセン!!世界で活躍するパフォーマ特集」

※10月7日(水)夜8:00~8:54

※BS日テレ

<URL> <http://hara.rakurakuhp.net/>

<ブログ「感謝」><http://ameblo.jp/magihara>



Smile Clover
三世代笑顔プロジェクト

5つの育む学ぶ

遊育【遊ぶ、遊びをうみだす】
旅育【旅してともに学ぶ】
創育【共に創る・表現する】
聴育【音楽・読み聞かせ】
食育【食べる、一緒に作る】

「夢育」をベースに、
5つの育む場を影響提供し、
その可能性を苦大敵に見い出します。



-

11月20日(金) 三世代イベント

-

「みんなで支えあう子育て」フォーラム

-

◆第一部 長谷川真理子先生講演会
「世界一受けたい授業」にも出演され、ユニークで説得力のある講義で有名。

-

◆第二部 トークセッション 実践型「おばあちゃんの力」
「孫と留学」と言う方法で、少子高齢化や核家族問題に取り組む
難波三津子氏と長谷川先生によるトークセッション。

-

プロジェクトメンバー・アドバイザーボード(五十音順で掲載しています)

 北原和子 (きたはら かずこ) いなほ保育園(埼玉県桶川市) 園長。 広大な自然の中で、五感すべてを使い、豊かな文化の中で育つ子供たちは、映画にも取り上げられた。関連図書に、塩野米松氏の聞き書きによる「いなほ保育園の12ヶ月」(岩波書店)がある。	 北原照久 (きたはら てるひさ) 株式会社トイズ代表取締役、プリキおもちゃ博物館館長。 テレビ東京「開運!なんでも鑑定団」に出演。おもちゃの枠を超え、世界的コレクターとして、年間170本の講演会をこなす。2007年横浜文化賞受賞。
 子安美知子 (こやす みちこ) 早稲田大学名誉教授、株式会社ルドルフ・シュタイナー・モルゲンランド代表取締役、NPOおしたの国まちづくりの会理事長。シュタイナー学校を日本に初めて紹介した「ミュンヘンの小学生」(中央公論社)が1976年度毎日出版文化賞を受賞。	 酒井一郎 (さかい いちろう) 酒井キャリア教育研究所所長、早稲田大学産業経営研究所特別研究員、NPO子ども大学かわこえ事務局長。 論文「大学教育サービスの国際化の動向と現状」、「子どもキャリア教育テーマパークの導入事例について」など。
 長谷川真理子 (はせがわ まりこ) 総合研究大学院大学教授、放送大学客員教授。専門は人間の進化心理学、行動生態学。母親から娘などへの子育て協力について論じた「お婆さん仮説」の提唱者。「進化生物学への道」(岩波書店)など著書多数。	 平松廣三 (ひらまつ こうぞう) 小僧com株式会社代表取締役社長。 小僧com株式会社は、「50、60はハナタレ小僧。30、40はヨチヨチ歩き」をキャッチフレーズに、元気な大人の豊かな後半戦を応援するインターネットコミュニティ小僧SNS村を運営。世代を超えた、価値ある出会いと交流の場を提供している。
 本間正人 (ほんま まさと) NPO学習協会代表理事、帝塚山学院大学リベラルアーツ学部客員教授、らーのろーじ株式会社代表取締役、成人教育学博士。「笑顔のコーティング」8小巻亜矢共著、大和書房)ほか著書多数。	 申し込み: www.smile-clover.com



England 便り



Dear Michi

ご無沙汰しております。私はNHSの仕事を辞め、ナショナル・トラストとチャリティ・ショップのOXFAMで仕事しております。ナショナル・トラストの仕事ですが、ハムステッドのウイロー通り2番地のルームガイドの仕事を始めました。ツアーに参加したり、ガイドブック、CDを聴いたり読んだりして、所有地のことを勉強しています。今後も旅行作家の道を進みます。(千尋ゴダード)

地球の歩き方 イギリス '09~'10
United Kingdom

【掲載記事より】 www.arukikata.co.jp

* イングリッシュ・ガーデンの魅力 *

イングリッシュ・ガーデンは、とても魅力的な空間だ。そこでは、甘い香りのするオールド・ローズ、世界各国産の植物やマーブル像、石灯籠等装飾品も鑑賞できる。植物は自然のままに成長しながらも、建物や季節の雰囲気に調和するよう統一されている。

古城やカントリーハウスの庭園造りは、かつてその館に住んでいた人物の遺志を守り、風景も建物も植物も以前のままだに「古きよき時代」を再現し、美しく管理されている。顕著な例が湖水地方の「ヒルトップ」。ピーター・ラビットのお話そのままにコテージ・ガーデンもカントリーサイドも目にすることができる。

古城やカントリーハウスの庭園の訪問者は、写真を撮るだけでなく、庭園で成長している花々、レイアウト、色彩を学び、自宅の庭造りに参考している。

イギリスの家には、前庭と裏庭がある。前庭は、「ようこそ」の意味を込めて、常時四季折々の花々が咲き乱れている。花だけでなく、奇妙な形の壺、オブジェを組み立てたりするなど、道行く人々を魅了する。さらに、ショッピングストリート、市民公園の出入口、ロータリーにも花壇、ハンギングバスケットがある。カラフルな花たちは、町の建物に調和し、活気づいた空間を演出している。どんな季節でも、どんな場所でも思いがけない出会いが発見できるのが「イングリッシュ・ガーデン」。オンリーワンの出会いを楽しんでみてはいかがだろうか。(千尋ゴダード)



England 便り Morning glory

My dear Michi

In memory of dear Angela:

Last year Michi sent me some morning glory flower seeds to plant with special instructions and tips. She told me the seeds should be planted in memory of Angela. I wanted to do everything at the same time as people were doing in Japan. I tended my seedlings carefully but only managed to grow some leaves due to the differences in our climates I guess. I was very sorry. I thought of Angela throughout my efforts and how she might have laughed at my little plants which only grew leaves. I felt determined to try again for her sake. So this year I did try again and followed the sowing instructions for our climate here in England. Everyday this summer and for a long time beautiful morning glory flowers bloomed in the early morning. I hoped somehow Angela could enjoy such a sight. When I came home in the evening the flowers had shut tight, their beautiful short lives over. And this happened over and over again. Now I am collecting the seed and hope to see the flowers again next year. So, Angela lives on in our garden in Norwich, England, so beautiful, such a short life but living on in others and in other places all around the world. I only knew Angela for a short time but I will never forget her, all her hard work at Nasu - interpreting for us all. I shall keep her as a beautiful memory and be reminded of her with every morning glory flower I see in the future. Helen (ICS代表)



昼顔アンジェラ